

19歳学生学内で飲酒、死亡 京都府立大

京都府立大（京都市左京区）は17日、1回生の女子学生（19）が16日夜、学内で飲酒が原因で死亡する事案が発生したと発表した。京都府警による司法解剖の結果、死因は急性アルコール中毒と判明し、大学は17日付で学内での飲酒を全面禁止する措置をとったという。

生は16日夜、学内の部室で10人前後の学生らと飲酒し、意識を失う状況に陥った。一緒にいた学生が119番し救急搬送されたが、まもなく死亡。ウイスキーを紙コップで2杯程度飲んだという。

築山崇学長は17日夕、記者会見し「学生への安全教育を徹底していく」と述べた。事案の経緯については「差し控えたい」として詳細を説明しな

クラブ部室で飲酒
19歳府立大生死亡

急性アルコール中毒

京都府立大（京都市左京区）は17日、キャンパス内のクラブ部室で飲酒していた1年の女子学生（19）が16日に急性アルコール中毒で死亡した、と発表した。

府立大によると、女子学生は16日午後6時ごろから、部室で同じクラブの上級生の部員ら約10人とともに飲酒を始めた。途中で意識を失ったため、午後10時半ごろに同席していた男子学生が119番通報し、市内の病院に運ばれたが、同



会場で頭を下げる築山学長（右）17日午後5時2分、京都市左京区・京都府立大

日中に死亡が確認された。女子学生は意識を失う前、「ウイスキーを紙コップで2杯飲んだ」と話したという。飲酒の強要は確認できていないとしている。

府立大の発表では、死因は司法解剖の結果、急性アルコール中毒だったという。

学内での飲酒について、同大学は、食堂などの一部の施設で届け出の上で認められていたが、クラブ部室では禁止していた。今回の事態を受け、学内での飲酒を無期限で全面的に禁止することを決めた。

会見した築山崇学長は「前途ある学生が若年だけで人生を終え、残念でならない。学生の生命を守る責任をしっかりと果たすため、学内における飲酒の規制や点検の強化、教育を徹底する」と述べた。

府立大の19歳 急性アルコール死

学内から救急搬送

府立大（左京区）は17日、1年生の女子学生（19）が16日夜、学内で飲酒後に救急搬送され、急性アルコール中毒で死亡したと発表した。



大学によると、女子学生は16日午後6時40分の授業終了後、クラブのメンバーら約10人で飲酒。午後10時40分ごろ、女子学生が意識を失っていることに一緒にいた学生が気づき、救急搬送。病院で間もなく死亡した。一緒に飲酒していた学生らによると、女子学生は紙コップでウイスキーを2杯飲んだという。教員は知らず、女子学生が飲酒を強要された事実を把握していないという。

府立大は今回の事態を受け、学内での飲酒を全面禁止とした。築山崇学長は「二度とこうした事態を招くことがないように、学内での飲酒の規制や点検の強化、安全教育を徹底していく」と話した。

会見で頭を下げる府立大の築山崇学長（手前右）ら左京区の府立大

39面

京都府立大の学内 飲酒19歳女子死亡

京都府立大（京都市左京区）の南山学長は17日、記者会見を開き、16日夜に部活動の仲間らと学内で飲酒していた1年の女子学生（19）が意識を失い、搬送先の病院で死亡したことを明らかにした。府警下鴨警の司法解剖で、死因は急性アルコール中毒と判明。南山学長は「残念でならない。安全教育を徹底したい」と述べ、学内での飲酒を無期限で全面禁止とした。

部室内で男女約10人で飲酒。女子学生は同10時40分頃、意識を失った。学生は「10時過ぎに飲酒送されたが、約1時間後に死した。一緒にいた学生は、大学の調査に対し「女子学生は『ウイスキーを紙コップで2杯飲んだと話していた』と説明したという。南山学長は「無理な飲酒や強要などは厳禁している」と説明。女子学生とついで初めての飲酒だったか否かについては「わからないうえに、」と述べた。

同大によると、女子学生は16日午後8時頃から、

30面

19歳女子学生が 学内飲酒し死亡

京都府立大

京都府立大（京都市左京区）は17日、1年の女子学生（19）が16日に大学構内のクラブボックスで飲酒して意識不明となり、急性アルコール中毒で死亡したと発表した。府立大によると、女子学生は16日午後5時40分から友人ら約10人と飲酒。午後10時40分ごろ、意識を失っているのに気づいた友人が119番通報し、病院搬送後の午後11時半すぎに死亡した。女子学生は少なくとも「ウイスキーを紙コップで2杯飲んだおり、一緒にいた学生は「飲酒は強要していない」と話しているという。

府立大では同構内での飲酒は禁止で、クラブボックスの使用は原則午後9時までと決められている。このクラブボックスは部活動の自費で借りている。記者会見した南山学長は「心から後悔の意を表し、二度とこうした事態を招かぬよう安全教育を徹底する」と話した。

【朝日新聞】

同大生合宿中
飲酒後に死亡

豊岡の宿泊施設

26日午前8時15分ごろ、兵庫県豊岡市日高町の宿泊施設で、ダンスサークルの合宿で訪れていた同赤松大1年の男子学生(19)＝京田辺市＝がぐったりとしていると、同じサークルの生が気づき、110番した。男子学生はドクターヘリで病院に運ばれたが、死亡が確認された。

と、自分たちで購入したビールや日本酒、焼酎などを飲んでたという、死との関連を調べる。

学生は気分が悪くなったとみられ、嘔吐(おうと)するなどしたため、メンバーが布団に寝かせていた。当初はいびきをかいていたが、26日朝には声をあげても返答がなかったという。当時の状況から嘔吐物が喉に詰まった可能性もあり、同警は27日に司法解剖し、詳しい死因を調べる。

↑ 3/7 京都 朝刊

← 3/8 朝日 朝刊

3/7 毎日 夕刊

合宿先で飲酒後
同志社大生死亡

豊岡のホテル

26日午前8時半ごろ、兵庫県豊岡市日高町のホテルで、同志社大1年の男子学生(19)＝京都府京田辺市＝が、患っている状態で冷たくなっていること、同室の学生が気づき、110番通報した。男子学生は約1時間40分後、搬送先の病院で死亡が確認された。

兵庫県豊岡市の調べによると、目立った外傷はないという。男子学生は大学のサークルの男女学生計26人で、22日から合宿に来ていた。25日の夜、1、3年の十数人で、酒を飲んでいたという。26日午前8時前ごろに同室の学生が呼びかけたが返事がなかったという。

【関係者氏名】

同志社大生の死因判明

兵庫県豊岡市日高町のホテルでサークルの合宿中、飲酒後に死亡した同志社大学の男子学生(19)＝京都府京田辺市＝の死因は急性アルコール中毒とみられることがわかった。県警が27日、司法解剖の結果について取材に答えた。